龍泉派下景堂･柏庭門派宗派

　禅は印可証明（悟りに達したことを認め許す）による師資相承により法を伝えます。その系譜が法系、法脈、伝灯、人法といわれるものです。
　一方、寺脈は、伽藍法と呼ばれ、幕府に対して明瞭に示し得る筋目(法系)とされ、近世から重要視されてきました。その為、寺の歴代持住が法脈上で繋がるとは限りません。

中國陶瓷美術館 2008　表記は道号と法諱
『近世禅林墨蹟加藤正俊編　思文閣刊)』近世臨済宗法系略譜、『昭和・平成禅僧伝（臨済・黄檗篇　臨済会編　春秋社刊)』関連法系図『正法妙心禅寺宗派圖(妙心寺宗務本所)』を参考に加筆して作製。